

4月の図書館だより

No. 504 [2026 (令和8) 年4月号]

草津市立図書館

草津市立南草津図書館

☎ 077-565-1818

☎ 077-567-0373

FAX 077-565-0903

FAX 077-567-2357

日	月	火	水	木	金	土	= TOPICS =
			1	2 H①	3	4	・4月23日(木)から5月12日(火)まで 「こどもの読書週間」です。 今年の標語は 「ことばがきみのはねになる」 こどもたちにもっと本を！と いう願いから、「こどもの読書週間」は 1959年にはじまりました。
5	6 南館休	7 本館休	8	9 H②	10	11 M①	
12	13 南館休	14 本館休	15	16	17	18 H③	
19	20 南館休	21 本館休	22	23 M②	24	25 M③	
26	27 南館休	28 本館休	29 両館休	30			・司書のおすすめ本紹介！ 司書がテーマに合わせた本を紹介するブックリスト「くさつの本棚」「南草文庫」を定期的に発行しています。 何を读もうか迷った時に参考にしてください。 4月発行 くさつの本棚「駅物語」 草津市立図書館・南草津図書館で展示中！ Instagram、広報くさつ、ホームページにもおすすめ本を紹介しています。
開館日 ●本館 水～月曜日 午前10時～午後6時 ○南館 火～日曜日 午前10時～午後8時 休館日 ●本館 火曜日 ○南館 月曜日 ●○両館 祝日、月末水曜日、特別整理期間、 年末年始〔12月28日～1月4日〕							



= EVENTS =

●草津市立図書館 (本館) … H

H①こども読書の日記念 ブックトークの会

日時 2日(木) 10時30分～12時

会場 2階 会議室

対象 どなたでも

内容 テーマに沿って本を紹介します

H②：こども読書の日記念 木曜おはなしのじかん (キッズデー)

日時 9日(木) 11時～11時30分

会場 2階 会議室

対象 乳幼児と保護者の方

内容 手遊び、絵本の開き読みなど

H③：4月図書館 DAY

様々な本と出合うイベントを開催します。

日時 4月18日(土)

・認知症キャラバン・メイト×図書館「認知症を知ろう」

時間 10時30分～12時

内容 認知症クイズや脳活ゲーム、本の展示等

会場 屋外玄関前スペース

・こども読書の日記念 おはなし会

時間 11時～11時45分

内容 大型絵本やおはなしなど

・こども読書の日記念 おはなしのじかん

時間 14時30分～15時

内容 絵本の開き読みなど

詳細はホームページをご覧ください。



○草津市立南草津図書館 (南館) … M

M①：こども読書の日記念 おはなし会

日時 11日(土) 11時～11時45分

会場 市民交流プラザ 音楽室

対象 幼児～小学校中学年

内容 大型絵本やおはなしなど

M②：こども読書の日記念 木曜おはなしのじかん (キッズデー)

日時 23日(木) 11時～11時30分

会場 絵本コーナー

対象 乳幼児と保護者の方

内容 手遊び、絵本の開き読みなど

M③：こども読書の日記念 おはなしのじかん

日時 25日(土) 14時30分～15時

会場 絵本コーナー

対象 幼児

内容 絵本の開き読みなど

・図書館アプリ「くさつLib-mile (リブミル)」

ご自分の資料貸出券をアプリに登録することで、本を借りるときに資料貸出券の代わりになります！

ぜひご利用ください！

詳細はコチラ



新着図書紹介 2026年4月

- ・お読みになりたい本がありましたら、ご予約ください。(返却期限の過ぎた本をお持ちの方は、返却を済ませてから、ご予約ください。)
- ・紹介していない本でも、ご予約いただけます。(電話でも結構です。それぞれご利用になる館に直接連絡してください。)

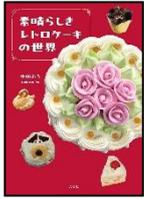
No.	記号	書名	著者名	No.	記号	書名	著者名	No.	記号	書名	著者名
1	007.13	老いてこそAI	岡嶋 裕史／監修	41	413.59	指数・対数・ベクトル		81	787.15	イワナとヤマメ	今西 錦司／著
2	007.13	はじめてのデジタル画像処理	山田 宏尚／著	42	420	物理は存在しない	田口 善弘／著	82	791.8	茶懐石のいただき方と作法	淡交社／編
3	007.353	Instagramいちばんやさしい使い方ガイド	小倉 映美／著	43	420.4	物理学者の自由研究	村田 次郎／著	83	804	頭が柔らかくなる多言語学習	宮崎 伸治／著
4	007.642	できるCanva	コツン／著	44	451.67	スノーモンスター	駒澤 満晴／著	84	804	ゲは言語学のゲ	吉岡 乾／著
5	015.2	経験としてのレファレンスサービス	大串 夏身／著	45	452	深海に挑む		85	810.7	Let's learn Hiragana and Katakana	坂本 舞／監修
6	016.2134	移動図書館をつかったまち	石川 敬史／編著	46	456	地層の本	西川 有司／著	86	811.2	魚へん漢字おいしい解体新書	魚偏漢字研究所／著
7	019	人生がちよっとよくなる読書術	斉藤 洋／著	47	486.1	人にちよっと話せるようになる「昆虫学」	盛口 満／著	87	816	人生がちよっとよくなる文章術	斉藤 洋／著
8	019.53	とっておきの絵本	高木 すえ子／著	48	487.85	日本のカエル48偏愛図鑑	迫野 貴大／著	88	829.57	はじめてのトルコ語	小澤 美智子／著
9	019.9	本をすすめる	近藤 康太郎／著	49	489	哺乳類の食事事典	南 正人／著	89	860	スペイン語の入門	瓜谷 良平／著
10	019.9	本は誰かを連れてくる	平松 洋子／著	50	490.15	テーマで読み解く生命倫理	小泉 博明／編著	90	901.307 イ	作家で食っていく方法	今村 翔吾／著
11	121.52	前世の記憶をもつ少年		51	490.4	「ふつう」ってなんだろう	美馬 達哉／著	91	902.3 ホ	あなたのモヤモヤに効く世界文学	堀越 英美／著
12	130.2	AI時代の哲学	平田 篤胤／著	52	491.358	人生の終わり方を考えよう	高島 亜沙美／著	92	910.268 サ	憤怒の人	杉山 響子／著
13	141.2	意識の正体	櫻井 武／著	53	493.2	コレステロールを超悪玉にしない習慣	池谷 敏郎／著	93	911.102 タ	三十一文字のドラマ	谷 知子／著
14	141.5	考える力	池上 彰／著	54	494.93	慢性腎臓病	丸山 彰一／監修	94	911.307 ナ	夏井いつきの俳句添削事典	夏井 いつき／著
15	141.6	怒っている子どもはほんとうは悲しい	渡辺 弥生／著	55	518.52	市民・自治体のためのごみとリサイクルの処方せん	松藤 敏彦／著	95	911.467 シ	シルバー川柳 いまが幸せ編	みやぎシルバーネット／編
16	146.1	ジャック・ラカン	松本 卓也／著	56	518.8	トコトヤサしい都市計画の本	宮本 万理子／著	96	913.6 ア	花嫁が山を下りるとき	赤川 次郎／著
17	159.79	80歳の壁を超えた人たち	和田 秀樹／著	57	550	トコトヤサしい船舶工学の本	池田 良穂／著	97	913.6 ア	風を織る	あさの あつこ／著
18	185.7	葬式坊主なむむむ日記	松谷 真純／著	58	588.34	希望のチョコレート	ジョン・タットリー／著	98	913.6 イ	私的応答	井戸川 射子／著
19	192.1	キリスト教入門の系譜	岡本 亮輔／著	59	589.2	ミナベルホネンと皆川明		99	913.6 ウ	神の蝶、舞う果て	上橋 菜穂子／著
20	209	地図でスッと頭に入る世界史を決めた戦争	加来 雄大／監修	60	590	暮らしを愉しむホームセンターベストアイテム		100	913.6 オ	やっぱり犬は知っている	大倉 崇裕／著
21	210.04	神国日本	小泉 八雲／著	61	590	nuance	高声 あかり／著	101	913.6 カ	ウチの共有不動産揉めてます!	桂 望実／著
22	210.47	地図でスッと頭に入る戦国の合戦	小和田 哲男／監修	62	593.36	生地選びで失敗しないコットン100%の服	かたやま ゆうこ／著	102	913.6 カ	絢爛の法	川越 宗一／著
23	210.6	私の明治時代史	渡辺 京二／著	63	594.3	かぎ針で編む着せ替えワンコのあみぐるみ	眞道 美恵子／著	103	913.6 キ	森羅記 2	北方 謙三／著
24	221	真・韓国の歴史	井沢 元彦／著	64	594.9	リカちゃんはおしゃれモデル		104	913.6 ク	あなたの命綱	久坂部 羊／著
25	230.3	ガリア戦記	カエサル／[著]	65	596	家族と私がうれしいごはん	村井 理子／著	105	913.6 サ	桜葬	斎堂 琴湖／著
26	232	古代ローマの教科書	田中 創／監修	66	596	長谷川あかりの「あたらしい」きほんの料理	長谷川 あかり／著	106	913.6 サ	春かずら	澤田 瞳子／著
27	232.8	古代ローマ歴史散歩	フィリップ・マティザック／著	67	596	ハツ江おばあちゃんのムダなくおいしい!つくりおき	高木 ハツ江／監修	107	913.6 ツ	みずうみの満ちるまで	土形 亜理／著
28	234.7	図説ハンガリーの歴史	南塚 信吾／著	68	596.4	駅弁図鑑 2026		108	913.6 ト	暗黒の彼方	堂場 瞬一／[著]
29	290.9	私たちは遊牧民として生きることにした	セリーヌ・パッシュ／著	69	611.33	いま知りたいお米と農家の話	農山漁村文化協会／編	109	913.6 ナ	青青といく	永井 紗耶子／著
30	291	47都道府県だけじゃない日本の分け方	成美堂出版編集部／編	70	657	よくわかる最新木材の基本と仕組み	渡辺 哲／著	110	913.6 ナ	被告人、AI	中山 七里／著
31	291.093	昭和レトロ	地球の歩き方編集部／編集	71	662.1	サカナ戦争	濱田 武士／著	111	913.6 マ	生きとるわ	又吉 直樹／著
32	323.14	図録日本国憲法	斎藤 一久／編	72	675.18	お菓子の包み紙	甲斐 みのり／著	112	913.6 ム	サチコ	群 ようこ／著
33	324.86	すぐに役立つ不動産登記の法律と申請手続きマニュアル	安部 高樹／監修	73	678.3	関税の世界史	大村 大次郎／著	113	913.6 ヤ	花屋さんが夢見ることには	山本 幸久／著
34	333.6	大暴落前夜	ジム・ロジャーズ／著	74	706.7	美術館強盗事件簿	フィリップ・デュラン／著	114	913.6 ワ	グレタ・ニンプ	綿矢 りさ／著
35	336	失敗マップのすすめ	飯野 謙次／著	75	727.8	モダンカリグラフィ入門	カーラ・リム／著	115	914.6 イ	大河の一滴最終章	五木 寛之／著
36	367.6	不安の世代	ジョナサン・ハイト／著	76	743	70歳からの簡単スマホカメラ便利帖	川島 玲子／著	116	914.6 ツ	傷つきながら泳いでく	月岡 ツキ／著
37	369.36	百年の挽歌	青木 理／著	77	751	基礎からわかるはじめての陶芸	Gakken／編	117	929.423 ク	どうせ死ぬなら、最後にミーアヤム	ブリアン・クリスナ／著
38	371.42	不登校を見つめ直す32の問い	森 万喜子／著	78	754.6	PPバンドで作るかわいいプラかごとバッグ	古木 明美／著	118	930.278 ミ	「クマのプーさん」誕生物語	ジェームズ・キャンベル／著
39	376.2	子どもが小1になったら知りたいことが全部のってる本	佐々木 陽子／監修	79	757	一生枯れないセンスとデザイン術	サナー・タナ満明／著	119	933.7 マ	抱擁	アン・マイクルズ／著
40	377.21	なぜ「地方女子」は呪縛になるのか	寺町 晋哉／著	80	780.13	体育会系	小野 雄大／著	120	973 マ	クレムスの曲がりくねる時間	クラウディオ・マグリス／著

- 草津市立図書館トップページ(PC用): <http://www.city.kusatsu.shiga.jp/toshokan/>
- パソコンからの蔵書検索・利用照会ページ: <https://www.lics-saas.nexs-service.jp/kusatsu/webopac/index.do>



- 図書館からの予約連絡用メールアドレス: kusatsu_library@info-a.lics-saas.nexs-service.jp
(送信専用です。返信されてもお答えできません。)

今月の新刊から



『素晴らしいレトロケーキの世界』

中田 ほう／著
(光文社)

588.35 【本館所蔵】

誕生日やお祝い、結婚式などに欠かせないケーキは今では日常で普通にあるものですが、洋菓子が当たり前の存在になったのは昭和の中頃だったようです。

本書では、江戸時代に入ってきた南蛮菓子をもとに、日本人の口に合うよう、少しずつ発展を遂げてきた洋菓子を豊富な写真や老舗洋菓子店のエピソードと共に紹介しています。

例えば、皇室御用達の店「コロパン」で、バターやカスタードクリームのに慣れていない日本人が食べやすいように、生クリームを使ったショートケーキを100年前に考案したことなどが、書かれています。

職人達が、試行錯誤しながら作ったレトロケーキのことを知ると、見た目の懐かしさも相まって久しぶりに食べてみたくなるのではないのでしょうか。(南館 和田)

テレビや雑誌で作家や著名人の本棚が紹介されていると、何をおいてもまず棚にずらりと並ぶ背表紙に目を走らせてしまう。その人が何を読んで何に影響を受けてきたのか、本棚にはその人となりが見れているからだ。

「本棚探偵」では愛書家36名の本棚を緻密なイラストでじっくり覗かせてくれる。棚に整然と並ぶものの、床に積み上がるもの、本棚の持ち主によって読書のスタイルは多様だ。例えば、音楽家の青葉市子さんは「本にハマった経験はないが、短い文章の事典や図鑑は短時間で深く潜れるからいい」と語る。本のためなら空間は惜しまないほどの読書家である柴崎友香さんの「本は誰かを通して違う世界や思考回路を体験できるもの」という言葉には深く頷いた。

新しい季節、誰かの本棚の一冊を開けば、未知の世界と出合えるかもしれない。(本館 桂木)



『本棚探偵』

(KADOKAWA)

024.9 【本館所蔵】

司書のおすすめ



『せんさいなぼくは
小学生になれない?』

沢木 ラクダ／著
(小学館)

2024年刊

916サ

「小1の壁」という言葉を御存じだろうか? 「小1の壁」とは、こどもが保育園に通っていたときには早朝保育や延長保育などによってできていた仕事と子育ての両立が、小学校に通い始めた途端に難しくなることをいうそう。このように親の負担が増す制度的な問題だと思っていたが、こどもにとっても「小1の壁」があることを知るきっかけとなった本がある。

本書は、小学1年生になる長男と3歳の次男の二人の子を持つ著者が長男の小学校入学からの日々を日記形式で綴っている。入学式の日、親から離れられないのも仕方がない、そのうち慣れるだろうと著者は思っていたそうだが、慣れるどころか息子さんの様子はだんだん行きしぶりから不登校へとかわっていく。幼稚園へ通っているときは、元気に園庭を駆け回っていた子が、元気がなくうつろな表情でテレビを見ている様子に父である著者は心を痛める。あの手この手で学校に行ってもらおうとするが、そうすればするほど余計に行きたくなくなり、日々一進一退を繰り返す。後に分かるのだが、息子さんは、HSCというひといちばい敏感な子(性格の中のひとつ)ということだった。そして両親は、小学校以外の選択肢も探すことを始める。

様々な道を探る中で、息子さんの思いを知ることになり、「行く学校は自分で決めたかった」という言葉に両親の固定観念も覆される。彼らがどのような選択をするのか見守る気持ちで読み進めていった。

大人の方もこの春から新しい生活が始まるといふ人も多いだろう。新しい環境を楽しみに待つ人もいれば、少し憂鬱に感じている人もいるかもしれない。そんな人が周りにいたら、不安な気持ちにそっと寄り添うことが大切だと本書が教えてくれる。「わたしは、きみの味方だ」と伝えてあげてほしい。

(本館 塩崎)